

組立橋の自衛隊に感謝

延岡花物語 実行委がセレモニー

花を生かした観光イベ

ント「延岡花物語」(同実行委員会主催)のメインプログラム「このはな」に撤去され、実行委(委

員長・谷平興二延岡観光協会長)はけさ、橋を架設した陸上自衛隊都城駐屯地第376施設中隊24人に感謝を伝えるセレモニーを開いた。

このはなウォークは23、24日、延岡市野地町と松山町の五ヶ瀬川西岸河川敷を会場に行われ、組立橋は来場者が右岸と左岸を往来する重要な役目を担った。同隊は災害発生時を想定した訓練を兼ねて4年前から協力している。

セレモニーは、このはなウォークの会場となった同川左岸で行われ、実行委や同隊員ら関係者約50人が出席。谷平実行委員長は「雨が降ったにもかかわらず2日間

人以上が来場し橋を利用した」などとお礼と激励の言葉を伝え、感謝の品を贈呈した。

隊を代表し成合光治・運用訓練幹部兼渡河器材小隊長(53)が「この訓練をずっと続けていきたいと考えている。来年もしっかりとした橋を架け、自衛隊のことを知ってもらいたい。延岡と自衛隊の懸け橋になりたい」と謝辞を述べた。

隊員はこの後、自衛隊車両に乗り込み出席者に見送られながら都城に



渡河器材小隊長の成合小隊長(右)に感謝の品を贈呈する谷平実行委員長

帰っていった。